学校教育目標

地域を愛し、人を大切にする子どもの育成



# 吉部小だより

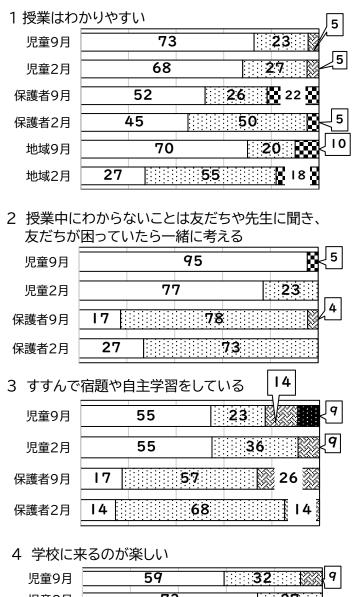
(令和5年3月2日発行) 宇部市立吉部小学校 宇部市大字東吉部3425-1

**2** 0836 - 68 - 0101

吉部小学校はコミュニティ・スクールです。地域総がかりで吉部小学校を支えていただいています。

# 第2回学校評価アンケートの結果をお知らせします

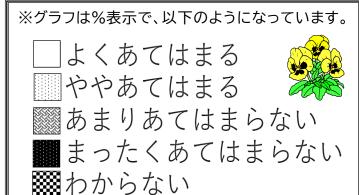
2月に実施しました「第2回学校評価アンケート」の結果を第1回(9月)の結果と比較し、まとめました。



児童9月	59	32	9
児童2月	73	27	
保護者9月	91 9		
保護者2月	73	27	
地域9月	100		
地域2月	100		

5 先生は自分や友だちのがんばりをほめてくれる

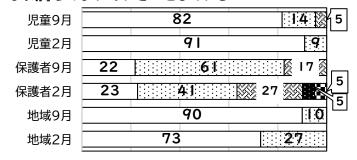
児童9月	82	11811
児童2月	86	田楽



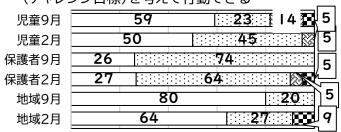
【回答者数】

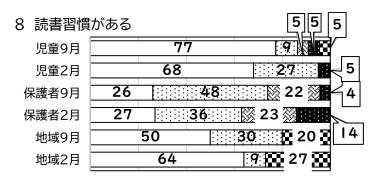
児童22名、保護者22名、 学校運営協議会委員11名

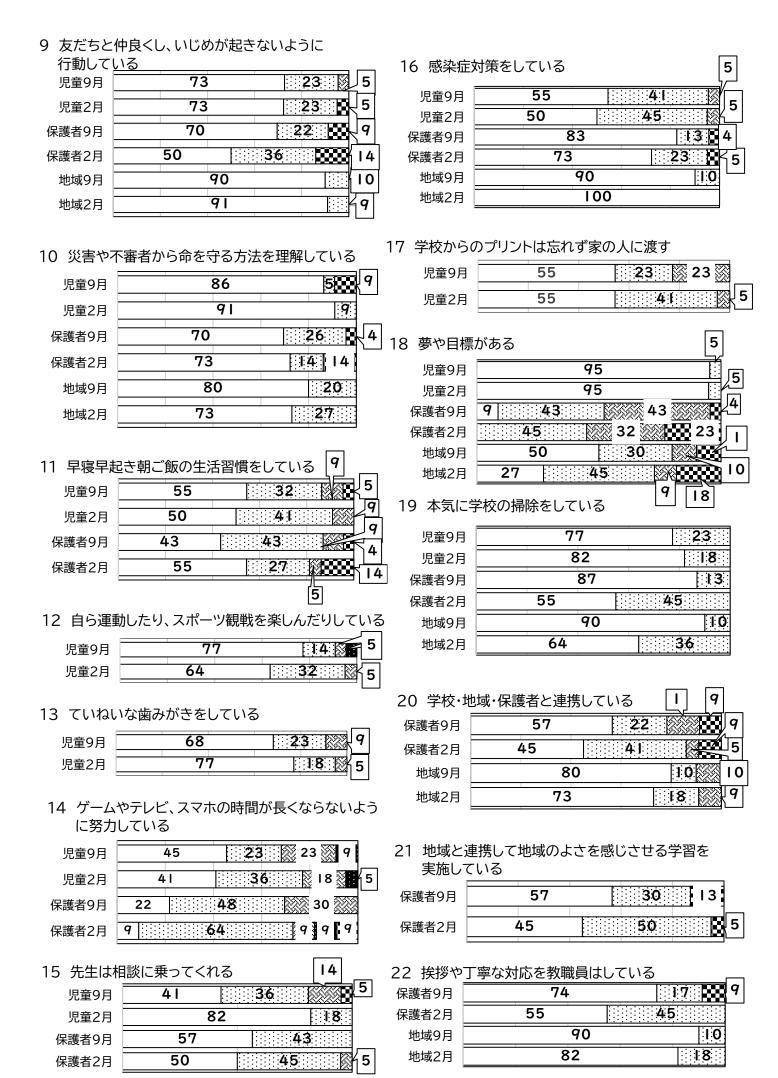
6 気持ちのよいあいさつをしている



7 「やさしい言葉やさしい行動だれもが大切」 (チャレンジ目標)を考えて行動できる



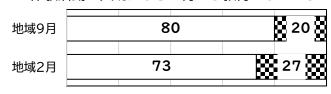




### 23 家庭への連絡や情報発信をよくしている

# 保護者9月 57 43 5 保護者2月 45 50 50 地域9月 50 40 10 地域2月 73 27

# 24 体験活動を大切にし心を育てる教育をしている



# 【保護者の自由記述】

問:「お子様への願いや学校教育をよりよいものにするためのご意見をお知らせください。」

- ☆楽しく社会生活や勉学に励むことができ、充実した毎日を送れています。2名
- ☆色々なものをみたり、色々な体験をし、色んな人の考えに触れて、自分の心を豊かに、考え の視野を広げてほしいです。答えを見つけるだけではなく、それまでの頑張った過程も大切 にしてほしいと思います。
- ☆コロナ禍になり数年たちましたが、これからは少しずつコロナ禍以前の活気ある学校行事を 実施していただきたいという親の願いです。コロナ禍を理由に私自身も親として楽を覚えて しまってるのも事実だと思います。小さな地域だからこそ学校と保護者が協力して子どもた ちのために輝ける場所を少しでも増やしてあげたいです。
- ☆この数年コロナ禍で制限されることが多かったと思いますので、このまま収束したら、色々 な体験ができると嬉しいです。
- ☆●今、教育現場は教師の負担を軽減すべく、様々な改善を試みていることと思います。そのこと自体はそうあるべきだと思います。ただ、今、私が危惧するのは、教員の負担軽減を急ぐあまりに、子供達の多様な学び、体験等が削られ、結果的に子供たちの不利益につながるのではないかということです。見守りや学習支援など、私がお手伝いできる事はいくらでも、かわいい吉部っ子のためにお手伝いする用意はありますが、それは、その先に、「子供達の教育の質の向上」があると信じるからです。どうか、教育現場に携わる教職員の働き方が改善され、内部からのネガティブキャンペーンによって、熱意を持つ教員の熱、教員になりたい学生の熱を奪い取らないで済む改善がなされることを願っています。私にできることは非常に限られますが、教員の業務負担を少しでも減らし、吉部っ子の将来のためになるお手伝いをぜひしたいと思っています。
  - ●ホームページ閲覧は、時間に余裕のある時にまとめてすることが多いので、そもそも見逃す事も多いです。参加してもよい活動の告知などは、ラインワークスでも流せるといいなと思いました。業務を増やすことになるとすれば、流すのを請け負っても構いませんよ。
  - ●他人を褒め殺すのはやめてほしいです。「○○さんは何でもできるから」みたいな言葉を 時々かけられましたが、本当に何でもできていたら、私はここにはいません(笑)。
- ☆お世話になります。今のままで大丈夫と思います。

# 【学校運営協議会委員(地域)の方の自由記述】

問:「子どもたちへの願いや吉部小学校をよりよいものにするためにこうすればよいというお気付き等をお知らせください。」

- ☆こどもたちが安心して、信頼でき、悩みや困り事を打ち明けることができる学校をつくっていってほしいです。
- ☆今日は神宮寺の清掃活動を一緒に行いましたが、子ども達はきちんと元気にあいさつをし、積極的に動き、こうした活動が大切だと思いました。
- ☆次年度からのコロナ対応変更に伴い、地域との連携活動を再構築する必要があると思います。吉 部小学校の学びが広がるよう、委員としてお手伝いします。
- ☆地域と連携して子どもたちの将来を見守っていきたい。

# □全体の傾向として…

- ・今年度の学校評価アンケートは、ICT 使って児童、保護者、学校運営委員会(地域)の方に回答をお願いしたが、第1回と第2回どちらも全員からご回答をいただくことができた。
- ・全体的にどの質問も「よくあてはまる」、「ややあてはまる」の肯定的な回答が多い。第1回アンケートの結果、「あまりあてはまらない」や「まったくあてはまらない」に回答された項目については、改善策を練り、取り組んできた。その成果として、第2回アンケートでは肯定的な回答が増加した項目が多数見られた。

#### 口よさ

- ①第1回アンケートより肯定的な回答が増えた項目として挙げられるのは、2「授業中にわからないことは友だちに聞き、友だちが困っていたら一緒に考える」、3「すすんで宿題や自主学習をしている」、5「先生は自分や友だちのがんばりをほめてくれる」、13「ていねいな歯みがきをしている」、14「ゲームやテレビ、スマホの時間が長くならないように努力している」、17「学校からのプリントは忘れず家の人に渡す」、20「学校・地域・保護者と連携している」などがあった。学校と家庭・地域の連携により、学校生活の中にとどまらず、ご家庭や地域においても子どもたちの成長が見られた。
- ②児童は①に挙げた6項目に加え、6「気持ちのよいあいさつをしている」、7「やさしい言葉やさしい行動だれもが大切を考えて行動できる」、8「読書習慣がある」、10「災害や不審者から命を守る方法を理解している」、11「早寝早起き朝ご飯の生活習慣をしている」、12「自ら運動したり、スポーツ観戦を楽しんだりしている」、13「ていねいな歯みがきをしている」、15「先生は相談に乗ってくれる」、19「本気に学校の掃除をしている」の9項目の合計15項目において、肯定的な回答が増えている。

### □課題

下記の点について、児童と保護者の間で回答に差が見られたり、その差が広がったりしている。認識の違いについて、その背景や意味及び今後の対応について考えていきたい。

- ●児童が肯定的な回答が増加した6「気持ちのよいあいさつをしている」や7「やさしい言葉やさしい行動だれもが大切を考えて行動できる」、10「災害や不審者から命を守る方法を理解している」、15「先生は相談に乗ってくれる」の3項目については、保護者は十分とは言えないという回答が増加しており、児童と保護者の回答で差が広がった。
- ❷特に、8「読書習慣がある」や18「夢や目標がある」の項目は、児童と保護者の回答に差が大きくある。

## □今後の取組

◎読書習慣について、学校では「朝の読み聞かせボランティアの方々」や「放課後子ども教室のちびっこ読書」と連携を図り、本に親しみやすい活動を継続的に実施しています。また、学校では図書館司書や担当教員とともに、児童図書委員が積極的に図書室利用促進の企画を実施したり、読書の時間を毎週設定したりしたことで、昨年度の年間貸出冊数800冊に対して、今年度貸出冊数はⅠ400冊(2月末現在)と大幅に増加しています。貸出冊数だけで判断することはできませんが、子どもたちは本に親しむ時間は増えていると考えられます。

今後も、ご家庭での読書習慣の定着に向けて、きっかけづくりを検討して参ります。

- ◎ゲームやテレビ、スマホについてはメディアリテラシー親子熟議を年2回実施したこともあり、メディアとの上手なつきあい方について、改善が見られはしたものの、今後も考え続けなければならないと考えています。体力向上や健康とメディアなど上手なつきあい方を模索し提案していきたいと思いますので、今後ともご協力をお願いいたします。
- ◎この学校評価アンケート結果は、学校運営協議会においても協議し、学校運営の改善に努めて参ります。

アンケートへのご協力に対してお礼を申し上げますと共に、子どもたちを真ん中に、今後も学校、家庭、地域の さらなる連携及び協働をよろしくお願いいたします。ご協力をありがとうございました。